

# 愛知スキー協通信 No.278

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2018年4月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo. co. jp (月1回発行)

<http://aichiskykyou. yukigesho. com/>



編集クラブ：ぶなの木

## クラブ消滅感染症

### 「3年生存率 50%以下」

文責 愛知スキー協 理事長・技術委員長兼任 寺田 康男  
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクト メンバー)

過去にも、過激な文章表現で、指摘を受けていますが、みんなに注目と批判の声、意見を頂きたく、今回もこんな他愛取る(訂正 タイトル)にしました。

感染症とつけたのは、感染していても発症するとは限りませんが、1件でも消滅が現実化すればたちまち、うつり拡がるからです。今、風邪やインフルエンザが流行っていますが、ややもすれば愛知スキー協が絶滅するかも知れないと個人的には強く思っています。「またか」と思っても一読ください。

私の勝手な判断ですが、現在、ウイルスを体内に保持している「キャリア」と思われるクラブが9クラブ中2クラブ(直滑降・望幻 Hadashi)、すでに発病しているクラブが3クラブあると考えます。発病しているクラブは、クラブ員が3名以下の(サザンクロス・シクラメン・寿限無)クラブです。発病しているクラブをどうするのかは、早急に役員会で案を検討し理事会に提案します。

問題は、2クラブの対処です。まずの第一弾がこの告知文章を多くの方が、どう受け止めてもらうかです。どちらのクラブの人も、一部の人は発病しない様に動き始めています。が、全クラブ員が感じてはいません。治す事も、諦める事も、クラブ員及びその周りの人を含めて話し合いをする時期にあると思います。

そして、愛知スキー協に属する全ての方ができる手立てを打つべきだと思います。観戦していないで、感染対策及び予防方法の話し合いを始めましょう。「若い人を入れる」なんてのんきな対策では全滅するよ!!せめて、この通信を多くの人に見せてね!

以上



# 【2018年東海ブロック競技会（第2戦）感想】

深雪スキークラブ穂山 洋

2018年3月10日（土）回転競技（2本）練習後・ベストタイム制

3月11日（日）大回転競技（2本）ベストタイム制

会場：野麦峠スキー場 トレーニングバーン

## 1日目（3月10日）天候 曇りのち晴れ 回転競技

朝8時30分に参加者が会場に集合し、そこからポールをセットし、参加者全員で会場設営を行いました。この間、野麦峠スキー場は雲で覆われていましたが、ゲレンデを取り巻く景色は1枚の墨絵を見ているような情緒あふれる素晴らしい風景でした。

10時からゼッケンをつけた参加者がトレーニングを行い、11時30分から開会式後、競技開始となりました。組別に分かれて競技するのですが、小学生の子供たちが早くて上手な滑りをしているのには、驚かされました。とにかく、あっ、早い、早い、と思っているうちに、ゴールでした。将来どれだけ早く滑るようになるのかなー、とっていました。この中からオリンピック選手が出てくると、スキーでの楽しみが一つ増えるなー、とも考えていました。若い男女のクラスは、一般のスキーヤーの滑りとは別世界の滑りで、単純に凄い、と思いながら、どうしたらあのような、早い滑りができるようになるのかなー、と漠然と考えていました。

表彰式は「民宿野麦の里」で19時30分から行われ、その後、交流会が始まり総勢50名以上の参加でした。あちらこちらのテーブルで歓声が上がり笑顔・笑顔の花が咲いていました。飲み物、つまみ類が十分にあり、夜遅くまで歓談が続いていました。

## 2日目（3月11日）天候 晴れのち曇り 大回転競技

当日は、快晴で御嶽、乗鞍がくっきりと見え、さらに雲海が遠く彼方にぼっかりと浮かんでいて、絵心のある人は絵筆を使いたくなるような美しい景色がスタート地点から見えました。当日の参加者は50名強で、下は3歳の幼児から、上は74歳の最年長者まで、年齢差71、種々の年齢層が参加しました。ちなみに最年長者の人は前日3月10日が誕生日でしたから皆で歌を歌ってお祝いをしてあげました。スキーは年齢制限がないですね。

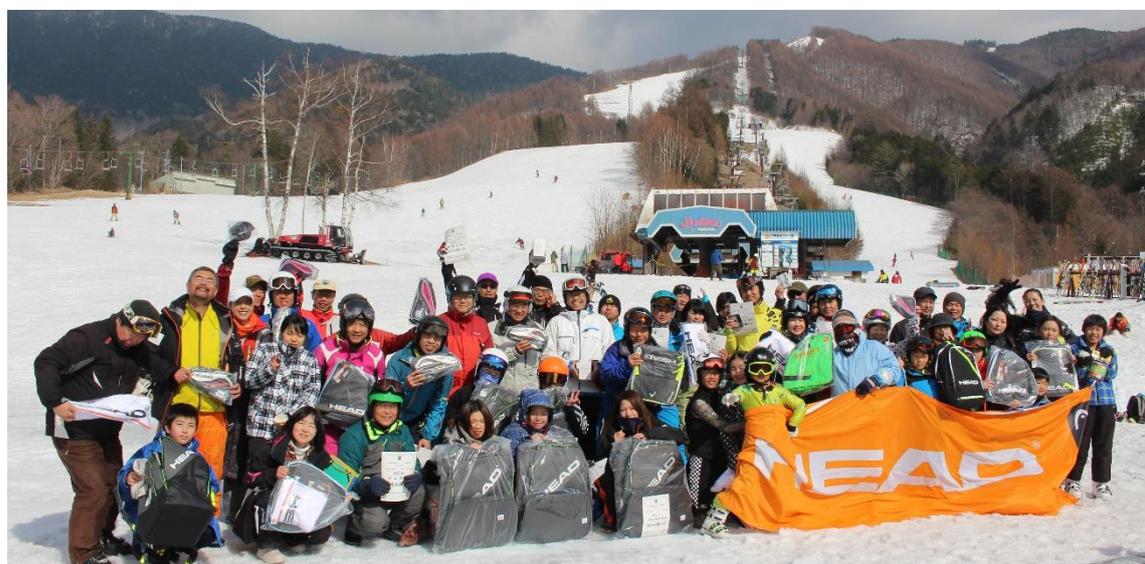
この日の最高タイムを出した人は28秒台でした。1本目は、愛嬌でしたが・・・、2本目はすごい滑りでした。

一方、孫にタイムが負けると、目尻を下げて嬉しそうに話していた人もいました。

1時45分からセンターハウス横にて、表彰式・閉会式が行われ2時35分に終了しました。当日は東日本大震災7年目にあたり、2時46分の地震発生時刻に合わせて野麦峠スキー場で犠牲者のご冥福を祈り、サイレンと共に黙とうしました。

最後になりますが、この紙面をお借りして、東海ブロック競技会（第2戦）開催に当たり多大な貢献をしてくださった関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。





## 競技会第2戦—気温上昇、暑さと空腹でヘトヘト

イエティ 金子菜穂子

3月10日から11日におこなわれた第2戦は、温かくなり、2日目の実施が危ぶまれる中で、初日を迎えました。人数が少ない中、準備も協力しておこなうことができました。

私はいつもゴールの準備をしています。朝は冷え込みでバーンは固めでしたが、だんだんとゆるみ前半の1回目は最高のすべり心地でした。これまでの練習の成果が出せて大満足!!! 気持ちよくすべりました。

2回目は攻めていこうとスピードをあげていったら、後半のスルーで旗門に入れない状態になって、でもここで踏んばらないと思ひ、アタックしたら、ポールに顔がぶつかり、板がはずれて転倒。残念ながら、DFとなりました。

後半にすべられた方は、計測器の故障でストップウォッチでの計測になりました。バーンも緩々でDQ、DFも続出し、順位への影響のあった部もあったのでは? 曇りから晴天へ変わり気温も上昇。後片付けの頃には、暑さと空腹でへとへとになってしまいそうでした。1時半ごろ終了しました。参加者が50名に満たないのでは、と心配した第2戦でしたが、50名ほどの方が参加されていたようです。

夜の交流会はスラロームの表彰のあと飲み物と漬物と持ち寄りで楽しいときを過ごしました。若い方達は遅くまで話がはずんでいたようです。

2日目の大回転は準備も早くて9時50分スタートでした。この日は最初からストップウォッチでの計測でした。ゆるんだバーンのせいか、板がはずれてしまった人も何人かおりました。競技は12時45分に終わりました。

## パウダースノーは めっちゃ楽しい!!

ぶなの木スキークラブで1/31~2/4 新潟県の苗場、石内、かぐら峰にパウダースノーを求めて5人で行きました。この頃の新潟なら毎日雪が降ってゲレンデでも十分パウダースノーを楽しめるとのこと。

クラブ外から参加した方から「先日のぶなの木苗場かぐらツアーは、人生の記念に残るとも言える、最高のスキーツアーとなりました。ツアー中は、かなり気合を入れて写真を撮影しましたので、皆さんの記念になればと、データー式をお送りします。全

### 東海ブロック初 デモ認定

3/24~25、志賀高原熊ノ湯で全国スキー協のデモンストレーター選考会が開かれました。そこで見事、寺田康平さんが全国デモに認定されました。東海ブロックでは初めてです。スゴイ!



世界中にアルペンスキー技術を広めた

## 有名なサンアントンへ行ってきました

1/21～31、全国スキー協山スキー部の今年の海外企画はオーストリアのサンアントンでした。ゲレンデでもオフピステ愛好者でも同時に楽しめる行事として企画されました。

サンアントンは世界中にアルペンスキー技術を広めたことでも、またインタースキーやアルペンスキー世界選手権などの開催地としても有名です。サンアントン、レツヒ、ツェールスを含めた6つのスキーエリアをアールベルグスキーエリアといい、標高が高く森林限界を超えたカール地帯にスキー場があり、何処を滑ってもいいというヨーロッパならではのスキー場です。

参加者は全国から11名、ぶなの木からは5名でした。行った時はあいにく雪が降らず、オフピステを楽しみにしていましたが結果的にはほとんどゲレンデを滑りました。4日間かけて広～いアールベルグスキーエリアを心ゆくまで滑りまわりました。

パウダースノーを期待していた参加者にはちょっと（だいぶんか？）残念！リフトで一緒になったドイツ人などから「日本の雪の方がふわふわで楽しい。どうしてヨーロッパにまで来たのか」などとも言われ、最近ヨーロッパは雪が少なく海外ではパウダースノーなら日本という認識らしいです。 文責：浅井



広～いゲレンデ、森林限界を超えているためどこをすべってもいい。

## 乗鞍大滑降 全国から結集しよう

5月12日（土）～13日（日）

大きな雪渓・素晴らしいオフピステです。山スキー愛好者大集合。

（指導員は応用研修扱い）

主催 全国スキー協山スキー部

宿泊 美鈴荘 TEL026-393-2330 〒390-1512 長野県松本市安曇4085-49

集合 5月12日（土）午前7時 宿舎前（出発可能の態勢で集合のこと）

行動予定 12日（土）午前7時宿舎集合、開会式の後 参加者確認・乗鞍雪渓の登高と滑降。

行動は、各組織リーダー単位で行動。午後5時宿舎へ。午後6時～9時 交流会

13日（日）自由行動 ※予備日（前日が悪天候の場合に備える）

参加費 13,000円（1泊2食・救出基金・事務諸経費等）

キャンセル料 参加費に対し、出発10-6日前=20%, 5-2日前=30%, 1日前=40%, 当日以後=100%

申込・締切 4月17日（火）（宿舎予約の関係で締切厳守）

愛知スキー協山スキー部・☎090-5108-3402 fax&TEL0562-32-0205 浅井千恵

その他 前泊や半泊（朝食付）は、別途連絡のこと。